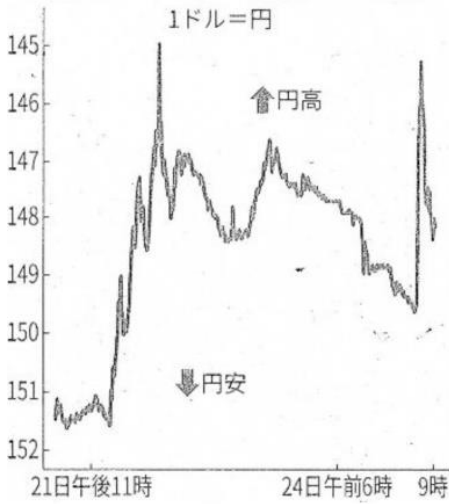


週間国際経済 2022 (34) No.327 10/24~11/02

- 10/24・習氏 3 期目、長期政権入り 指導部発足 「習派」 8 割 権力集中
改革派退場 後継候補も見当たらず
- ・円急伸、一時 145 円台に 為替介入 5.5 兆円規模 市場推計 過去最大か <1>
円乱高下、一時 4 円高 防衛ライン 150 円鮮明 市場と攻防激しく
- 10/25・英新首相にスナク氏 与党党首選、無投票で選出
- ・中国「政策不況」脱却に時間 7~9 月 GDP3.9%増 ゼロコロナ響く
 - ・香港株 6%下落 経済統制に警戒感 13 年半ぶり安値
 - ・米製造業景況 (購買担当者景気指数)「不況」に 10 月 2 年 4 ヶ月ぶり、「受注悪化
 - ・イエレン米財務長官「日本の為替介入、私は知らない」
- 10/26・海外マネー 中国から逃避 株、売越額が最大 元、15 年ぶり安値
「改革・開放」の後退懸念
- ・米住宅価格 2 ヶ月連続下落 8 月、金利高で需要低迷
 - ・英スナク新内閣 堅実路線 ポンド・英国債が上昇
- 10/27・カナダ、利上げ縮小 0.5% (26 日) 3.75%に「引締め終盤近づく」
- 10/28・欧州中銀、連続 0.75%利上げ (27 日) インフレ、米を上回る <2>
- ・米 GDP2.6%増 7~9 月 3 期ぶりプラス 消費は低迷
 - ・EU、ガソリン車禁止合意 新車販売規制、35 年に ハイブリッドも対象
- 10/29・日銀、大規模緩和を維持 黒田総裁 利上げ「今すぐはない」
物価 3%超え「上昇は一時的」見方崩さず 賃上げの行方見極め
- ・米消費支出物価 6.2%上昇 9 月、前月から横ばい
 - ・ツイッターの買収完了 6.4 兆円 マスク氏、幹部ら解任
 - ・首相「経済下振れに備え」 対策決定、補正 29.1 兆円 額ありきに危うさ
財務省 25 兆円提示から自民党が一晩で 4 兆円積み上げ 財政・金融もたれあい限界
 - ・米テック 5 社、4 社が減益 7~9 月最終 時価総額 1 週間で 63 兆円消滅 <3>
景気減速影響、長期化も 業績悪化 広告費抑制 ドル高 競争激化
- 10/30・労働分配率 31 年ぶり低調 昨年度 62%に低下 増益の還元進まず <4>
- ・石油メジャー、稼ぎすぎ批判 7~9 月純利益 6.5 兆円 原油高、家計負担増 <5>
- 11/01・ユーロ圏、0.7%成長 7~9 月年率 物価高で減速 10 月消費者物価 10.7%上昇
- ・円買い介入最大の 6.3 兆円 10 月単月、一連の介入では 9 兆円
金利差・貿易赤字…強い円安圧力 構造要因の影響大きく
 - ・ブラジル大統領にルラ氏 中南米に左派政権の波
 - ・NY 株、46 年ぶり上昇率 10 月 14% 利上げ幅縮小観測
- 11/02・米、対中規制に追従要求 半導体 日本など同盟国に 製造装置・人材も対象
- ・トヨタ、純利益 23%減 4~9 月 売上高は 14%増 鋼材など原材料高く

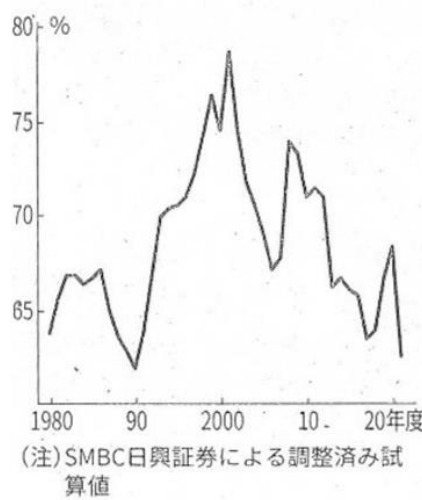
<1>

円相場は一時149円台まで下落

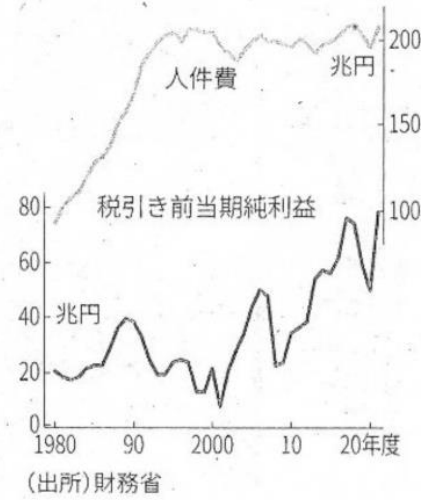


<4>

労働分配率は低下傾向にある

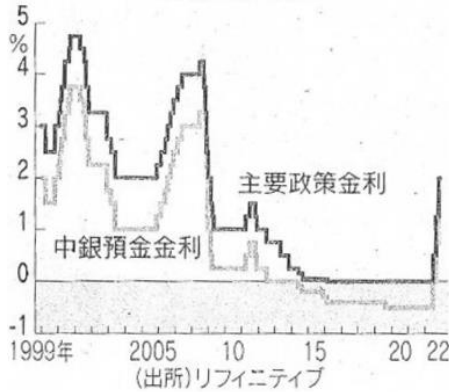
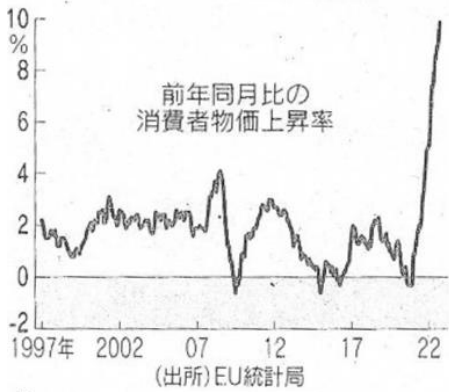


利益は増えても人件費は横ばい



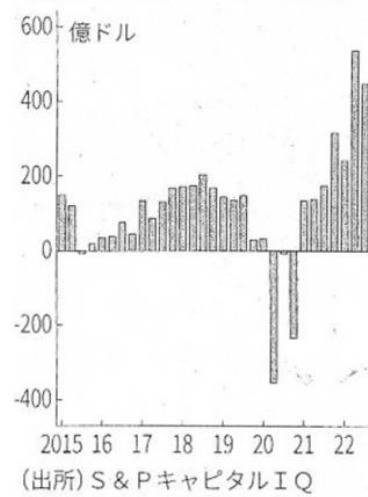
<2>

ユーロ圏の物価上昇率と政策金利



<5>

石油メジャー4社の純利益



<3>

米IT大手の2022年7~9月期業績

(▲はマイナス)	売上高 (億ドル)	増減率 (%)	純利益 (億ドル)	増減率 (%)
アップル	901.46	8	207.21	1
マイクロソフト	501.22	11	175.56	▲14
アルファベット	690.92	6	139.1	▲27
メタ	277.14	▲4	43.95	▲52
アマゾン	1271.01	15	28.72	▲9

GAFAMの時価総額は減少

